

第18回『運動処方講習会』開催のご案内

テーマ：新しい枠組みの中での心臓リハビリテーション

当番幹事

聖マリアンナ医科大学循環器内科講師

大宮一人先生

心臓血管研究所附属病院循環器科部長

小池 朗先生

榊原記念病院循環器内科部長

長山雅俊先生

榊原記念病院副院長

伊東春樹先生

関西医科大学心臓血管病センター助教授

木村 穰先生

心臓血管研究所附属病院臨床検査部主査

田嶋明彦先生

東京都リハビリテーション病院リハビリテーション科

小山照幸先生

榊原記念病院クリニック検査科主任

前田知子先生

群馬県立心臓血管センター部長

安達 仁先生

2006年の4月からの診療報酬の改定は、今までの、どちらかというところマイナーチェンジと言うべき改訂から比べても大幅な改訂であると言えます。適応疾患としては、長年の要望であった慢性期の心不全、大血管疾患およびその術後、閉塞性動脈硬化症が新たに含まれることとなります。細部には色々と問題もあるものの、これだけの疾患が認められたということは大きな前進であり、非常に喜ばしいことです。しかし、よい点ばかりではなく、これらの疾患群に対するリハビリテーションの方法論に関しては未だに確立したものが無いのが現状です。つまり、現在行われている心筋梗塞、開心術後、狭心症という古典的疾患に対するものと同様の方法論では行えないことが予想されます。今回の講習会では、テーマを「新しい枠組みの中でのリハビリテーション」として、新たな適応疾患を含めた心臓リハビリテーションについての講義・実習を行います。さらに今回の改訂では「心肺機能の評価による適切な運動処方を行うこと」が盛り込まれており、心肺運動負荷試験の重要性が増したと考えられます。

また、当然ではありますが、最近のトピックスとなっているメタボリックシンドロームは動脈硬化のリスクファクターであるとともに運動療法のよい適応であることが知られています。メタボリックシンドロームの診断基準が昨年発表されましたが、その根底にあるインスリン抵抗性が運動療法により改善することから、今回の講習会でもその点についても講義を行います。

翌日からの日常診療に役立つプログラムを心がけたつもりですので、ぜひ多くの方々のご参加をお待ちしております。

第18回運動処方講習会当番幹事 大宮一人

なお、本講習会は日本循環器学会認定 循環器専門医更新単位(B区分、登録単位1点)、日本医師会認定、健康・体力づくり事業財団認定 健康運動指導士および健康運動実践指導者 更新単位(講義2.3単位、実習0.8単位)、心臓リハビリテーション指導士 更新単位(5単位)、健康スポーツ医更新単位(申請中)が認定される予定です。

また、心臓リハビリテーション指導士認定試験講習会の第一部免除の対象は、平成19年(第8回)に適用されます。

詳しくは www.senmon-i.ne.jp/rihashidoushi をご覧下さい。

主催 運動処方研究会・NPO法人ジャパンハートクラブ
事務局 榊原記念クリニック(E-mail: info@npo-jhc.org)
後援 日本心臓リハビリテーション学会
協賛 インターリハ株式会社・フクダ電子株式会社